主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	産業建設部	
	17030	森林環境創造事業		課名	産業振興課 森林林業G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	08:自然との共生			款	06:農林水産業費
	施策の方向	02:森林・里山・農地の保全			項	01:農林水産業費
戦略プロジェクト	-		目		06:林業振興費	
事業予定期間	H 14 ~ R 13 年度	主な根拠法令要綱等	三重の森林づくり条例、森林環境創造事業実施要領			

② 目的・概要	対象	認定林業事業体、森林所有者、市民
	目的	市内の環境林について、森林の持つ公益的機能(水源かん養、土砂流出防備、二酸化炭素吸収による地球温暖化の防止等)が効果的に発揮されるよう森林の整備及び保全を図る。
概要	森林所有者から認定林業事業体が20年間の管理委託を受けた約800haの環境林を、森林の持つ公益的機能(水源かん養、土砂流出防備、二酸化炭素吸収による地球温暖化の防止等)を効果的に発揮するよう、間伐により針広混交林(針葉樹・広葉樹が混交した森林)へ誘導した多様な森林づくりを行う。	

③ 事業の計画・実績	年度計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		<ul style="list-style-type: none"> ○環境林整備事業業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・切捨間伐 10ha ○森林環境創造事業(交付金)業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・切捨間伐 90ha ○森林環境創造事業(県単)業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・面積・現地調査、巡視 一式 ○環境林新規認定面積 3ha 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境林整備事業業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・切捨間伐 10ha ○森林環境創造事業(交付金)業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・切捨間伐 90ha ○森林環境創造事業(県単)業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・面積・現地調査、巡視 一式 ○環境林新規認定面積 3ha 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境林整備事業業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・切捨間伐 10ha ○森林環境創造事業(交付金)業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・切捨間伐 90ha ○森林環境創造事業(県単)業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・面積・現地調査、巡視 一式 ○環境林新規認定面積 3ha 	
年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○環境林整備事業業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・切捨間伐 32.82ha ○森林環境創造事業(交付金)業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・切捨間伐 9.36ha ○森林環境創造事業(県単)業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・切捨間伐 0.63ha 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境林整備事業業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・切捨間伐 13.79ha ○森林環境創造事業(交付金)業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・切捨間伐 8.81ha ○森林環境創造事業(県単)業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・切捨間伐 2.02ha 			
	事業費	計画額	事業費	20,000千円	20,000千円
国庫支出金			9,800千円	9,800千円	9,800千円
県支出金			7,800千円	7,800千円	7,800千円
地方債					
その他					
予算額		事業費	7,342千円	4,317千円	
		国庫支出金	787千円	747千円	
		県支出金	5,496千円	2,879千円	
		地方債			
		その他			
決算額		事業費 ①	7,105千円	4,258千円	
		国庫支出金	787千円	747千円	
	県支出金	5,497千円	2,880千円		
	地方債				
	その他				
人件費	一般財源	821千円	631千円	0千円	
	総人件費 ②	2,304千円	2,335千円		
	一般職員	2,304千円	2,335千円		
	所要人員	0.30	0.30		
	臨時職員等	0千円	0千円		
総コスト(①+②)		9,409千円	6,593千円		
受益者負担率		0.0%	0.0%		

		平成29年度	平成30年度	令和元年度
④ 指標	① 名称 環境林整備面積 単年度の間伐面積	計画値 100 実績値 43 単位 ha	100 25 ha	100 ha
	② 名称 環境林整備計画認定面積 単年度の環境林整備計画認定面積	計画値 3 実績値 0 単位 ha	3 0 ha	3 ha
	③ 名称	計画値 実績値 単位		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 環境林の整備を計画的に進めるために、本事業の目標達成に必要な国・県の予算を見据えた要望を行っていく。また、森林環境創造事業と同種の補助メニューを調査し、他の手法も検討していく。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 環境林の間伐等の森林整備に係る国・県の補助メニューを調査したが、既存の森林環境創造事業のみであった。そのため、昨年度に引き続き、「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用し、環境林の間伐を実施し、事業量確保に努めた。また、今後も国・県の補助金が見込めないことから、令和元年度から新たに市単独の森林環境創造事業の予算を確保した。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 従前から予算確保に向けて、国・県に対し機会を捉えて要望等を継続してきているが、国・県の予算が年々減少するなか、国・県に対し環境林の間伐100haの事業要望を行ったところ、予算が確保できず24.62haの間伐に留まった。 また、認定林業事業体が、環境林の森林所有者に対し新規認定の働きかけを行ったが、事業の趣旨に賛同が得られず面積を拡大することができなかった。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 既存の森林環境創造事業としての間伐は進まなかったものの、事業量を確保するために「みえ森と緑の県民税市町交付金」の用途を見直し、「鈴鹿川等源流域再生事業」として間伐を行ったことで一定量の事業費が確保でき、森林の持つ公益的機能の向上に寄与した。	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 森林環境創造事業は、環境林の森林所有者と認定林業事業体、市との3者が20年間の協定を締結し、計画的に環境林の整備を進めるためには、国・県の予算確保が必要である。 また、本事業の採択にあたっては環境林整備計画の認定が必要であるが、新規の認定が進んでいない。	今後の方向性 ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 廃止 ☐ その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 計画的に環境林の整備を進めるため、引き続き国・県に対し機会を捉えて予算確保の要望をしていく。 また、環境林整備計画の認定面積を拡大するためには、森林所有者の意識醸成が不可欠であり、認定林業事業体とともに森林所有者に対し働きかける。	
	効果	【対応することで、どんな効果が期待できるか】 環境林を整備する面積が拡大し、認定林業事業体の事業量が確保されるとともに、森林の持つ水源かん養や土砂災害防止等の公益的機能の向上に繋がる。	
対応時期		令和元年度	

【1次評価者】	産業建設部 産業振興課 森林林業グループリーダー 村田 博
【最終評価者】	産業建設部 産業振興課長 富田 真左哉

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B			
	成果	B	B			